

あなたの活動を“協働”で深める

6 / 3 (水)

14:30-16:40

～研究者と活動実践者から見る

協働が社会にもたらすものとは～

"協働"という手法は、社会においてどのような意義があるのでしょうか

本セミナーでは、横浜における協働の変遷や他都市における協働のあり方などについてお話しいただくほか、多様な人々が主体的に社会に関わる意義とそこで市民活動が果たす役割についてもご講義いただきます。また地域の活動者から見た協働の難しさや、協働が地域にもたらす効果などについてもご紹介いただきます。グループトークの時間では、市内で活動する仲間と出会い、学びを深めます。

協働を理解しその視点をもつことは、市民活動が深まり、多様なニーズが反映され、あらゆる人にとって暮らしやすい社会の実現につながります。「協働ってなぜ必要?」「社会においてどのような意義があるの?」「実際の活動の話を聞いて参考にしたい!」とお思いの方、ぜひご参加ください。

登壇



名和田 是彦 氏

法政大学名誉教授

専門分野はコミュニティ政策論。ドイツへの留学を経て、日独比較研究を行う。日本でも、横浜市を中心に、全国各地のコミュニティとコミュニティ政策を調査研究している。現在は、横浜市地域まちづくり推進委員会委員長を務める。

※オンラインでのご登壇



齋藤 保 氏

株式会社イータウン
代表取締役

2005年より商店会やNPOとの連携で「港南台タウンカフェ」を運営。様々な地域交流・活性化事業に取り組む。多様な市民参加型の街づくりを目指し奔走中。著書「コミュニティカフェ～まちの居場所のつくり方、続け方」。

日時：2026年6月3日（水）14：30～16：40（14：00受付開始）

終了前10分程度で、横浜市より「市民協働提案事業」についての説明が行われます

会場：横浜市市民協働推進センター スペースAB

定員：36名 参加費：無料（要事前申込）

申込締切：2026年5月27日（水）

申込QR

